

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	原発性肺癌切除後の非肺癌死に関するリスク因子の検討
	研究目的	手術は原発性肺癌を根治させる治療法です。しかし肺癌患者さんの肺を切除することで、身体に負担をかける恐れがあります。肺を大きく切除することで肺癌が治っても、身体への負担が大きく肺癌以外の原因で命を落としてしまうと元も子もありません。 本研究では、当院で肺癌に対して手術を行い、術後に再発していないにも関わらず、肺癌以外の原因で命を落とした方の死因を解析します。さらに、肺癌術後に肺癌以外の原因で命を落とした方と再発せずご健在な方とを比較し、どのような患者さんが肺癌術後に肺癌以外の原因で命を落とすのかを解析します。
	研究対象者	2010/1-2018/12 の間に手術を行い、病理病期 0～IIIA であった原発性肺癌患者さんのうち(肺全摘を行った患者さんは除きます)、肺癌が無再発の患者さんを対象といたします。
	研究期間	西 暦 2021 年 5 月 31 日 ～ 西 暦 2022 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)	<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録	
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	伊坂哲哉
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	呼吸器外科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	無し